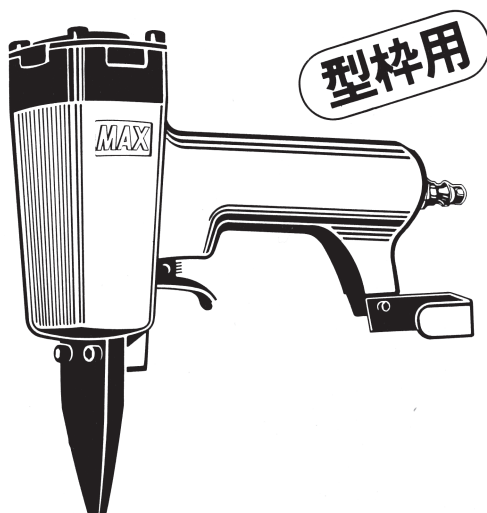


マックス釘抜機ネイルパンチ TA-35AP

取扱説明書



⚠ 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- 釘の飛散を防護する枠や囲いを必ず設ける。
- まわりに人がいないことを必ず確認してから使用する。
- 射出口を絶対に人体に向けない。
- 移動する際は、必ずエアホースをはずす。
- 使用しない時、また、調整・修理・フック使用の時は必ずエアホースをはずす。
- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

MAX®

このたびは、マックス釘抜機ネイルパンチTA-35APをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

⚠ 警告： この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

⚠ 注意： この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

また、取扱いを誤った場合には、釘抜機本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

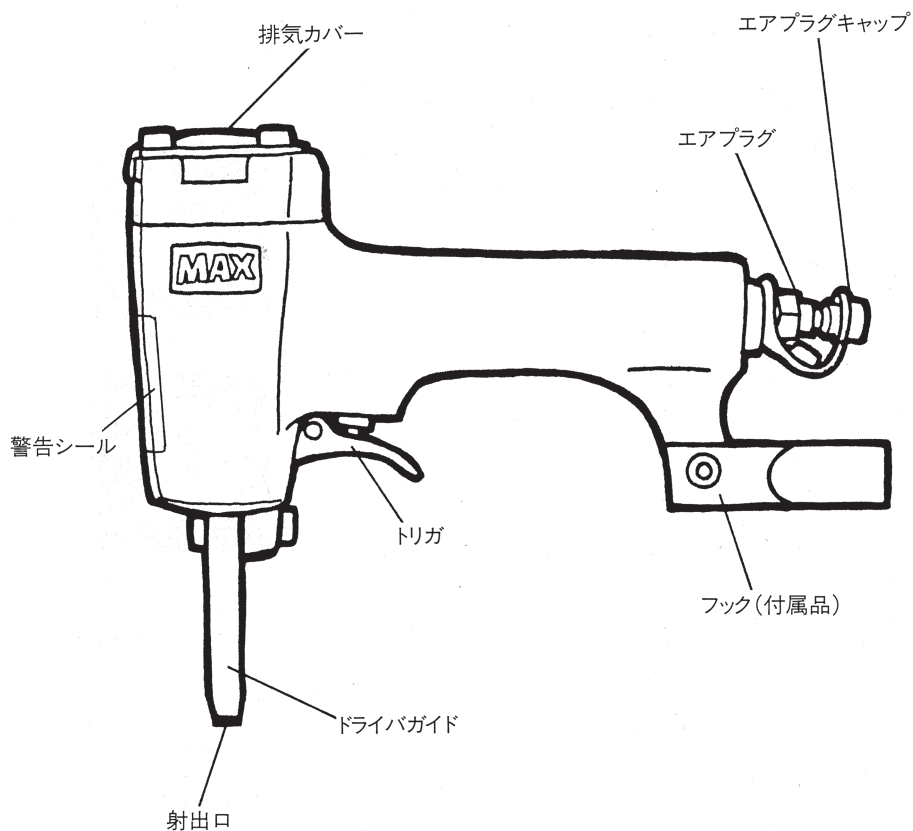
目 次

1. 各部の名称	1
2. 安全作業のために	2
3. 仕様及び付属品	8
4. 使用方法	9
5. 配管についての注意	11
6. エアホースの接続	12
7. 使用空気圧	13
8. 釘づまりの直し方	14
9. 性能を維持するために	15
10. 保証、アフターサービス、補修用性能部品について	17

全国販売拠点、サービス拠点一覧

1

各部の名称



本機は、型枠パネルを解体した後の合板に残った釘を打ち抜くことを目的とした空気工具です。指定以外の用途、使用方法是重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

- ①使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。

釘抜作業をする時、打ち抜いた釘がはね返り眼に入ると失明する恐れがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。

- ②防音保護具を着用する。

釘抜作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

- ③作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

⚠ 警告

①



②



③



④ 釘の飛散を防護する枠や囲いを必ず設ける。

打ち抜いた釘が飛散しないように枠や囲いを設け、毛布など、釘のはね返らないものを敷いてください。

⑤ まわりに人がいないことをかならず確認してから使用する。

打ち抜いた釘が人に当たると危険です。必ず、まわりに人がいないのを確認してから使用してください。

⑥ エアホース接続前に必ず点検する。

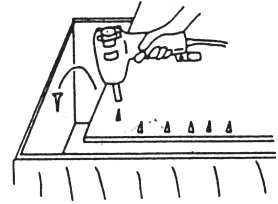
エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1. ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。

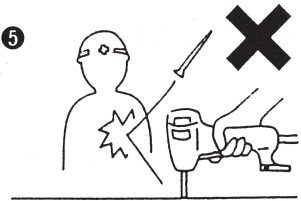
不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービスへ点検・修理に出してください。

警告

④



⑤



⑥



⑦エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。

⑧エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

1. トリガに指をかけない。
2. 射出口を人体に向けない。

⑨エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

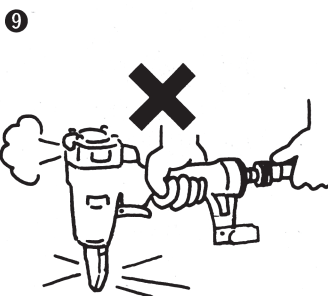
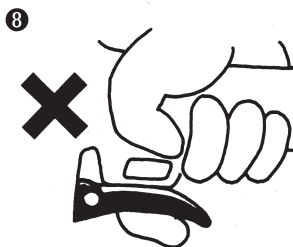
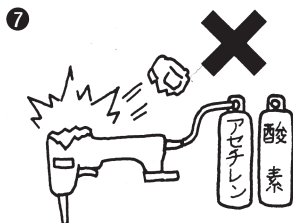
1. エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
2. エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がする場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

⑩作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

⚠ 警告



作業中

①使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は4～7kgf/cm² (0.39～0.69 MPa)です。対象物によりその範囲内で調整し使用してください。7kgf/cm² (0.69MPa) を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

②射出口を絶対に人体に向けない。

射出口を人に向け、誤って打撃した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですから教えてください。同時に打ち抜いた釘が人に当たらないよう作業中は付近の人に注意をはらってください。

③向い合わせの釘抜きは絶対にしない。

向い合って釘抜き作業をすると、打ち抜いた釘が前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがありますので、向い合わせの釘抜きは絶対にしないでください。

④射出口を確実に合板に当てる。

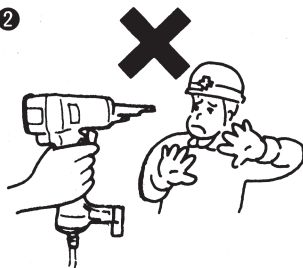
射出口を確実に対象物に当てないと、釘が残ったり、大きな反動で釘抜機がはねる場合があります。射出口を確実に合板に当ててください。

警告

①



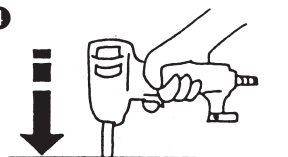
②



③



④



⑤揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとネイル打抜時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。

⑥移動する際は、必ずエアホースをはずす。

エアホースを接続した状態でトリガに指をかけたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って打撃した場合には思いがけない事故につながります。移動する際は、エアホースをはずしてください。

⑦フック使用の時は、必ずエアホースをはずす。

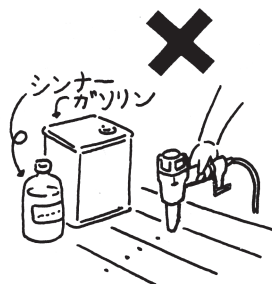
フック使用の時は、必ずエアホースをはずしてください。

⑧作業中断時は必ずエアホースをはずす。

作業中の調整及びネイルづまりを直すときは誤ってネイルを打撃すると危険ですから、必ずエアホースをはずしてください。

⚠ 警告

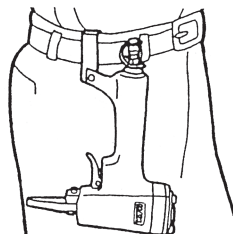
⑤



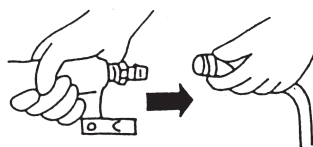
⑥



⑦



⑧



⑨異常を感じたら絶対に使用しない。

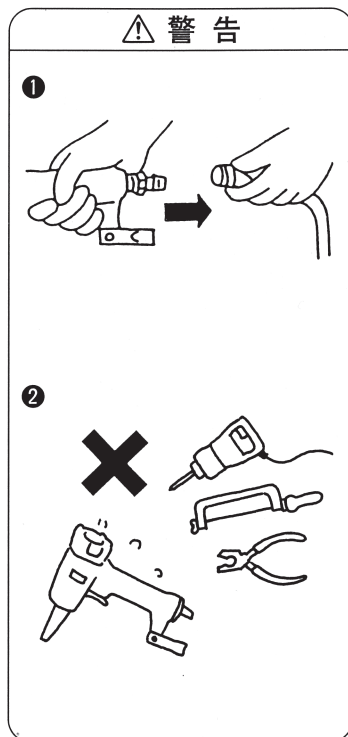
作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。



作業後

①作業終了時には必ずエアホースをはずす。

作業終了時には、必ずエアホースをはずしてください。



②本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

名 称	マックス釘抜機ネイルパンチ
製 品 記 号	TA-35AP
バルブ機構	ヘッドバルブ方式
寸 法	(H) 189× (W) 53× (L) 235mm
重 量	0.9kg
対 象 ネ イ ル	コイルネイル NC45V1、NC50V1、NC45V3、NC50V3、NC50V5、 NC65V5、 バラ釘 N45、N50、N65
使 用 空 気 圧	4～7kgf/cm ² (0.39～0.69MPa)
使 用 ホ ー ス	内径7mm以上、20m以内
使 用 オ イ ル	タービン油I種ISO VG32 (JIS1号90番)
付 属 品	六角棒スパナ4、ジェットオイラ(油入)、保護メガネ、フック、 フック取付用六角穴付ボルト、フック取付用六角ナット

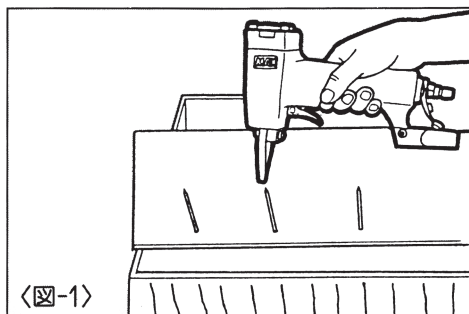
4 使用方法

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

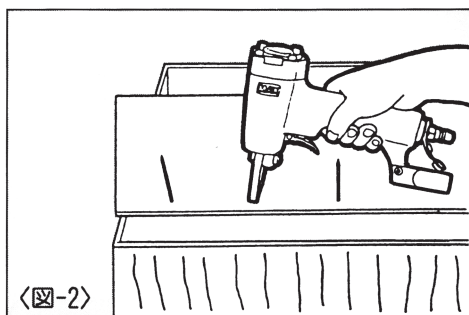
【釘の打ち抜き方】

手順

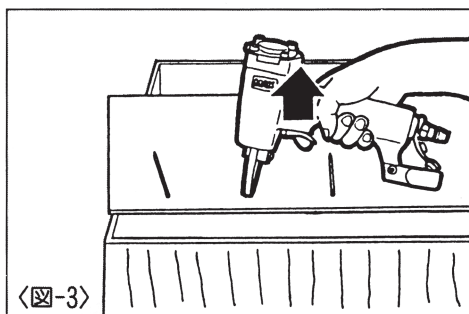
- ① 型枠/パネルより桟木をはずし、合板に残った釘の先端を釘抜機ドライバガイドに挿入してください。〈図-1〉



- ② 釘をまっすぐにおこし、合板に射出口を当ててください。〈図-2〉



- ③ 釘抜機のトリガを引き、釘を打ち抜いてください。〈図-3〉

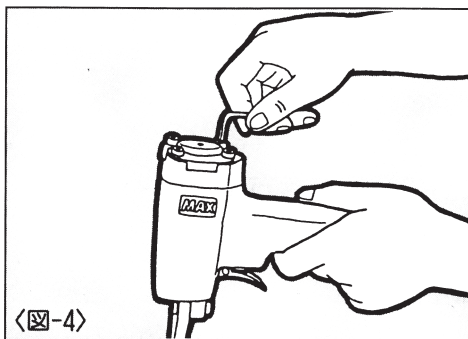


【排気穴の変え方】

⚠ 警 告

- 調整の時は、必ずエアホースをはずす。

排気穴の方向は作業状況にあわせて、「前」「左」「右」に変えることができます。変更方法は、排気カバーの上についているボルトを付属品の六角棒スパンナ 4 ではずし、排気カバーの位置を変えます。〈図-4〉〈図-5〉



〈図-4〉



〈図-5〉

【フックの取付け方】

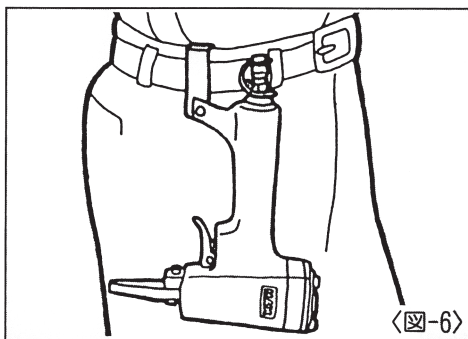
⚠ 警 告

- フック使用の時は、必ずエアホースをはずす。

手順

付属品の六角穴付ボルトと六角ナットを使用してフックを取付けます。

作業場所を移動する時、ベルト等に引っかけてご使用ください。(付属品) 〈図-6〉



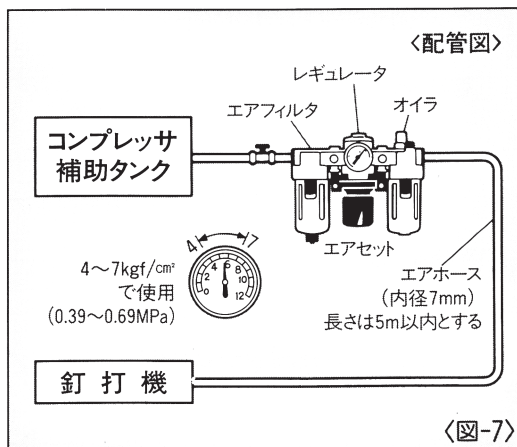
〈図-6〉

⚠ 警告

●エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

- ①動力源は必ずエアコンプレッサをお使いください。高圧ガス(例：酸素、アセチレン等)は絶対に使わないでください。
- ②エアセットはできるだけ本機1台に1セット取付けるようにしてください。
- ③エアホースは内径7mm以上、長さ30m以内で使用してください。エアセット使用時は、エアセットから釘打機までのエアホースを内径7mm以上、長さ5m以内で使用してください。

〈図-7〉



⚠ 警告

●エアホース接続の時は必ず厳守する。

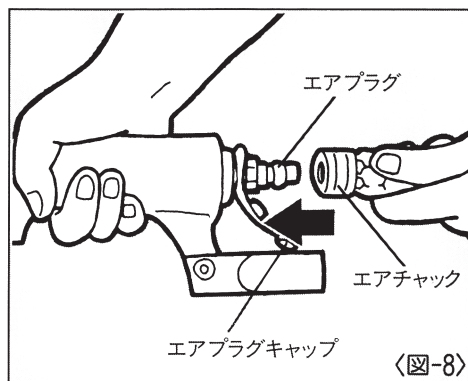
エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

1. トリガに指をかけない。
2. 射出口を人体に向けない。

手順

- ① エアプラグキャップをエアプラグからはずします。
- ② エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。

〈図-8〉



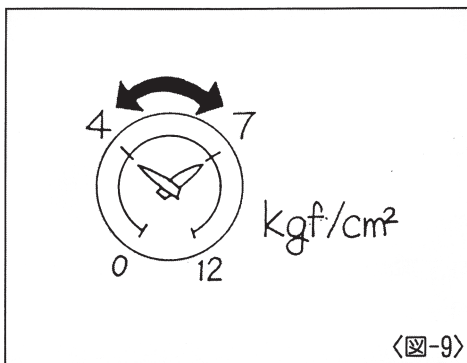
⚠ 警告

●作業中断時は必ずエアホースをはずす。

7

使用空気圧

- 本機を使用する場合、通常は 6 kgf/cm^2 (0.59 MPa)に圧力をセットします。作業中釘が合板に残ったり、飛びすぎたりした場合は、エアセットのレギュレーターで圧力調整してください。〈図-9〉
- 合板の硬軟、釘の長短で多少使用圧力がちがいますので作業前にテスト打ちを行なって圧力調整をしてください。



⚠ 警告

- 7 kgf/cm^2 (0.69 MPa) を超えた圧力では絶対に使用しない。

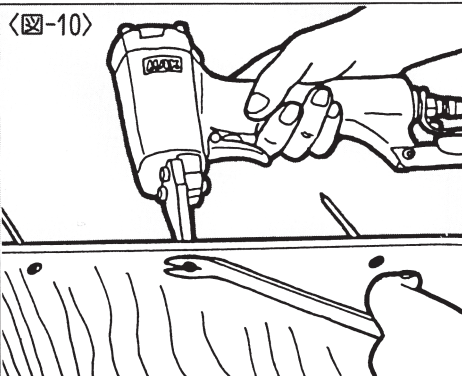
⚠ 警告

- 釘づまりを直す時は、必ずエアホースをはずす。

手順

- ①エアホースをはずします。
- ②合板裏側よりバールを使って、つまった釘を抜いてください。

〈図-10〉



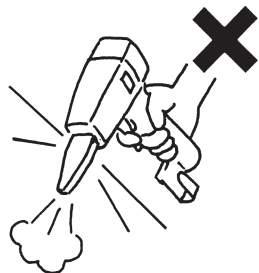
①本機を大切に使う

落したり、ぶつけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつけたり、叩いたりしないでください。



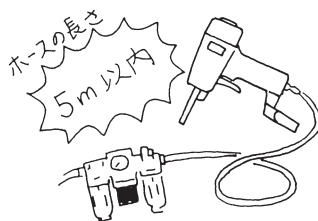
②カラ打ちをしない

カラ打ちをくり返し行くと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。



③エアセットを使用する

エアセットを使わないとエアコンプレッサ内の水分やゴミが本機内に入り、錆や摩耗が発生して作動不良の原因になります。なお、エアセットから本機までのエアホースは長すぎると圧力低下となりますので5m以内にしてください。



④本機の水抜きをする

作業終了時エアプラグを下に向け十分水抜きしてください。



⑤指定オイルを注油する

オイルはタービン油1種ISO VG32（JIS1号90番）を必ずお使いください。使用前使用後にエアプラグの口より2～3滴注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。



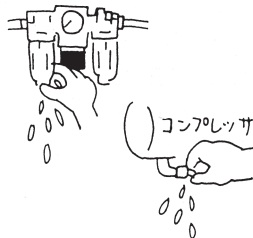
⑥エアプラグキャップの使用方法

本機を使用しないときには、機械内部にゴミなど入ると故障の原因となりますので、本機を使用しないときはエアプラグにキャップを装着してください。



⑦エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタに水がたまると能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。



⑧定期的に点検する

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にお申しつけください。

10 保証、アフターサービス、補修用性能部品について

【保証について】

- 本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間は買い上げ日より1年間です。
「お客様登録カード」にて登録手続きしていただいたお客様に限り、保証期間が2年間となります。

【アフターサービスについて】

- 本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店又はマックスサービス(株)にご相談ください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

【補修用性能部品の最低保有期間】

- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、本機の性能を維持するために必要な部品です。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。



本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町 6-6	TEL (03) 3669-8121(代)
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東 6-12-8	TEL (011) 261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東 2-1-29	TEL (022) 236-4121(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町 6-6	TEL (03) 3669-8118(代)
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市中区徳川 1-11-23	TEL (052) 935-8531(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18	TEL (06) 6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音 7-11-24	TEL (082) 291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1-5-1	TEL (092) 411-5416(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭 2-10-3	TEL (019) 621-3541(代)
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市築瀬町 2313	TEL (028) 636-3012(代)
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴 297-12	TEL (04) 7132-1500(代)
摩摩営業所	〒190-0022	立川市錦町 5-17-19	TEL (042) 528-3051(代)
浜松営業所	〒433-8117	浜松市高丘東 2-22-15	TEL (053) 439-3300(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町 3-24	TEL (099) 269-5347(代)
新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東裏館 2-14-28	TEL (0256) 34-2112(代)
戸田マックス(株)	〒310-0043	水戸市松ヶ丘 2-3-27	TEL (029) 255-3761(代)
群馬マックス(株)	〒371-0844	前橋市古市町 233-5	TEL (027) 210-7755(代)
埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町 3-421	TEL (048) 651-5341(代)
千葉マックス(株)	〒284-0001	四街道市大日 1870-1	TEL (043) 422-7400(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘 7-6	TEL (045) 364-5661(代)
長野マックス(株)	〒399-0033	松本市笹賀 8155	TEL (0263) 26-4377(代)
長野営業所	〒381-2247	長野市青木島 1-35-1	TEL (026) 285-6740(代)
静岡マックス(株)	〒422-8036	静岡市敷地 1-3-26	TEL (054) 237-6116(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸 2-15	TEL (076) 240-1871(代)
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割 10-8	TEL (076) 452-0182(代)
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東 2-1711	TEL (0776) 27-3378(代)
京滋マックス(株)	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL (075) 645-5061(代)
兵庫マックス(株)	〒652-0832	神戸市兵庫区鍛冶屋町 2-1-2	TEL (078) 652-7370(代)
三木営業所	〒673-0404	三木市大村 109-1	TEL (0794) 83-2121(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田 3-23-28	TEL (086) 246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町 761-3	TEL (087) 866-5599(代)
徳島営業所	〒770-0866	徳島市末広 1-4-25	TEL (088) 623-0286(代)
松山営業所	〒790-0951	松山市天山 2-1-35	TEL (089) 913-0608(代)
マックスサービス(株)札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東 6-12-8	TEL (011) 231-6487(代)
マックスサービス(株)仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東 2-1-29	TEL (022) 237-0778(代)
マックスサービス(株)高崎	〒370-0031	高崎市上大類町 412	TEL (027) 350-7820(代)
マックスサービス(株)埼玉	〒331-0823	さいたま市北区日進町 3-421	TEL (048) 667-6448(代)
マックスサービス(株)名古屋	〒461-0025	名古屋市中区徳川 1-11-23	TEL (052) 935-8210(代)
マックスサービス(株)大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18	TEL (06) 6446-0815(代)
マックスサービス(株)広島	〒733-0035	広島市西区南観音 7-11-24	TEL (082) 291-5670(代)
マックスサービス(株)福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1-5-1	TEL (092) 451-6430(代)

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-228-358
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

3444430
250606-01/01

